



平成21年2月6日

各位

会社名 株式会社エー・アンド・デイ
 代表者名 代表取締役執行役員社長 古川 陽
 (コード番号7745 東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 伊藤 貞雄
 (TEL. 048-593-1111)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月31日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想、及び平成20年11月7日の「平成21年3月期第2四半期決算短信」の発表時に公表いたしました期末の配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期 通期連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,380	1,100	440	200	9 46
今回修正予想(B)	31,400	△180	△2,070	△2,270	△107 36
増減額(B-A)	△2,980	△1,280	△2,510	△2,470	――
増減率(%)	△8.7	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	34,541	3,272	2,265	1,015	45 54

(2) 平成21年3月期 通期個別業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,530	110	130	100	4 73
今回修正予想(B)	23,680	△1,180	△1,340	△1,260	△59 59
増減額(B-A)	△1,850	△1,290	△1,470	△1,360	――
増減率(%)	△7.2	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	26,626	1,431	386	210	9 44

(3) 修正の理由

第3四半期に入り、世界的金融危機が实体经济にも影響を及ぼし始め、想像を絶するスピードで景気後退が進んでおります。また、円高は、欧米諸国通貨はもとより新興国通貨に対しても急激に進み、輸出比率の高い企業は収益の圧迫が深刻化しております。

このような状況の中、当社グループは販売面におきまして、新市場の開拓や新規顧客の獲得に注力し、受注確保に邁進しておりますが、円高の影響に加え、企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制や主要顧客の流通在庫圧縮等の影響もあり、前回発表時(平成20年10月31日)の予想を下回る見込みとなりました。また、グループを挙げてコスト削減に取り組んでおりますが、売上減少に伴う利益の減少を補うには至らず営業損失となる見込みであります。

更に、第3四半期におきまして、主にロシア現地法人A&D RUS CO., LTD.において米ドルに対する現地通貨(露ルーブル)の急激な下落により多額の為替差損が発生したことなどから、第3四半期連結累計期間で為替差損が534百万円発生しております。第4四半期におきましても、更なる為替変動の影響を受けることが見込まれることなどから、通期でも経常損失及び当期純損失となる見込みであります。

なお、今回の業績見通しに用いた為替レートは、1米ドル90円、1米ドル36ルーブルであります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成20年11月7日発表)	円 銭 ——	円 銭 7 00	円 銭 14 00
今回修正予想	円 銭 ——	(未定)	(未定)
当期実績	7 00	円 銭 ——	円 銭 ——
前期(平成20年3月期)実績	7 00	7 00	14 00

(2) 修正の理由

当社は、利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元が経営上の最重要施策のひとつと認識し、業績に応じた安定的な配当の実施を目指してまいりたいと考えております。

現在は健全な財務体質を確保し経営基盤を強化するとともに、積極的な事業展開や投資等により企業価値を一層高めることで株主の皆様への利益還元を行うこととしておりますが、今般の経営環境の急速な悪化により平成21年3月期の業績予想の修正を余儀なくされ、更に来期においても現時点では経営環境の先行きが依然不透明であることから、当期の期末配当につきましては、現時点では未定とし、当期の通期実績と来期の業績見通しを勘案した上でご提案させていただきたいと考えております。

(注) 前述の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づく将来予測が含まれております。実際の業績等は、今後の事業運営や為替の変動、国内外の状況の変化等といった様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上